



新庁舎への移転が始まります。

平成25年12月25日に新庁舎が完成したことに伴い、3庁舎の各部署が順次新庁舎に移転します。移転後の業務開始日については、次のとおりです。市民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

【各部署の新庁舎への移転スケジュール】

| 庁舎等の名称 | 現在の配置 | | 旧庁舎での業務終了日 | 新庁舎での配置等 | | 移転後の取扱い |
|---------|-------|--|------------|----------|-------|---|
| | 階数 | 課等の名称 | | 階数 | 業務開始日 | |
| 東条庁舎 | 1階 | 窓口センター | 2/21 | 1階 | 2/24 | 東条庁舎の3棟ある建物のうち、中央の本館については、平成26年度に解体し、跡地は駐車場とします。また、現在上下水道部を配置している別館については、加東消防署の東条分署として、残りの新館は防災備蓄倉庫として活用します。 なお、2/24から東条郵便局で証明書発行業務(取扱業務:戸籍謄本・戸籍抄本・住民票の写し・戸籍の附表の写し・印鑑登録証明書)を開始します。 |
| | | 農林課 農村整備課 地域振興課 管理課(上下水) 工事課(上下水) 農業委員会 | 2/7 | 3階 | 2/10 | |
| 滝野庁舎 | 1階 | 窓口センター | 2/21 | 1階 | 2/24 | 今後、滝野庁舎の2階および3階は北はりま消防本部として、1階は防災関連施設として活用します。 |
| | | 保険・医療課 生活課 土木課 都市整備課 加古川整備推進室 | 2/14 | 3階 | 2/17 | |
| 滝野公民館 | 2階 | 教育総務課 学校教育課 青少年センター 人権教育課 | 2/14 | 4階 | 2/17 | 2/17以降は、生涯学習課文化財係のみとなります。なお、滝野公民館の貸館業務は従来通り行います。 |
| | | 生涯学習課 | | | | |
| 社庁舎 | 1階 | 窓口センター | 2/21 | 1階 | 2/24 | 社庁舎は、2/21の午後5時15分をもって閉鎖します。その後、平成26年度に解体し、跡地は駐車場として活用します。 |
| | | 税務課 市民課 社会福祉課 子育て支援課 会計課 | | | | |
| | 2階 | 企画政策課 秘書広報課 総務課 財政課 防災課 委員会事務局 | 4階 | | | |
| 中央図書館 | 2階 | 健康課(保健センター) | 2/21 | 2階 | 2/24 | 2/24以降、中央図書館の健康課を配置していた部分は会議室として活用します。 |
| ラポートやしろ | 1階 | 高齢介護課 | 2/21 | 1階 | 2/24 | 2/24以降、ラポートやしろの高齢介護課を配置していた部分は、施設事務所として活用します。 |

※上記に記載のない部署については、移転はありません。 ※各部署の旧庁舎での業務終了は、それぞれの日の17:15です。

広報かとう2月号で、各部署の連絡先をお知らせします。

謹賀新年

～平成26年～

加東市長

安田正義



加東市議会議長
井上茂和



何となく 今年はいい事あるごとし 元日の朝 晴れて風なし

新年明けましておめでとうございます。みなさまには輝かしい平成26年の新春を、ご家族お揃いで迎えたいと心よりお慶び申し上げます。二月には新庁舎での業務が始まります。新たな加東市の船出でもあり、何かよい事あるごとし、の感がしています。加東市が誕生して8年。公共施設のあり方などまだまだ課題が山積していますが、解決には市民のみなさまのご理解とご協力が必要だと思います。昨年政治や国際情勢、異常気象や災害など、憂うこと、嬉しいこと、また悲しいことなど様々なできごとがありました。加東市は先ずは平穏に新年ができました。本年も、昨年と同様に、三つの目(鳥の目・虫の目・魚の目)を大切にしながら、いつの日も、和を以て尊しとなすの精神で議会力を高めその機能を十分に発揮してまいりたいと思っております。そして、高齢化社会や人口減少時代に即した施策を展開し魅力ある住みよい街を創造する加東市政の一翼を担う議会でありたいと思っておりますので、みなさまのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。本年がみなさまにとりまして、晴れて風なし“ 午年飛躍の年になりますようお祈り申し上げます、ごあいさつといたします。

新しく希望に満ちたすがすがしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。今年はいい事あるごとし、元日の朝、晴れて風なし。点もなくした非常に強力な駒を指します。これまでの加東市を振り返れば、多様な施策という駒を、それぞれの計画という定石に基づいて、よりよい加東を目指し、前へ前へと積極的に進めるまちづくりであったように思います。多くの方々のご理解、ご協力を得ながら進めてきた結果として、守るべきところを確実に守り、また攻めに出る準備もしっかりと整えて、序盤の駒組みはまず盤石と言える現在があります。これからまちづくりの中盤戦へと望むにあたり、攻守の要、新たな象徴となる『馬』の駒を、まちの中央に配することができました。『馬の守りは金銀3枚』との格言にもあるとおり、『馬』は堅実な手ほどその真価を発揮します。今後とも、盤上の四方隅々まで見渡しなが、みなさまの暮らしと幸せの基盤をしっかりと固める、きめ細やかなふるさとづくりに精進してまいります。さて、縁起物として、将棋の駒に彫られたり、年賀状に書かれたりしている、反転した漢字の馬「左馬(馬)」をご覧になられた方も多いかと思えます。由来は諸説ありますが、『うま』が反転していることから『まう』。転じて、舞うくらいに喜びが多いという意味が込められているとのこと。本年がみなさまにとりまして、舞うように美しく活躍される躍進の一年となりますことをお祈り申し上げます。